

「いいお手伝いを」

知事 会見 がれき処理職員派遣で

鈴木英敬知事は十二日の

ぶら下がり会見で、東日本大震災からの復興に向けてがれき処理の支援業務に当たるため、十九日から岩手県大船渡市へ環境境森林部の職員を派遣することについて、「がれき処理は各被災地が困っている。お手伝いできることはいいこと」と話した。【2面に関連記



会見に臨む鈴木知事
＝県庁で

大船渡に2人派遣

県 大量のがれき処理へ

県は十二日、岩手県大船渡市に十九日から平成二十四年度末まで環境森林部の技術系職員一人と事務系職員一人の計二人を派遣すると発表した。二十三年度は三カ月交替で延べ六人が業務に当たる。環境省から東日本大震災の被災地支援として職員派遣の要請を受けたため【一面参照】

環境省は六月、全国の都道府県と政令市に対し、がれき処理のため廃棄物行政の職員派遣を照会し、回答を取りまとめた。廃棄物処理に通じた環境森林部職員が、がれき撤去の現場監督や事務処理に携わる。二十四年度の派遣体制はこれから調整する。がれきの撤去は三年ほどかかる見込みという。